

でんき生産者  飯館電力 とオンライン交流会しました

「生活クラブでんき」に
スイッチング



スイッチングで原発被災地を応援しませんか？

※ 電気事業者を切り替えること

● 飯館村のこと

7/9のバーチャルツアーには、環境委員含む23人の組合員が参加しました。ナビゲーターであり、福島飯館電力取締役の千葉さんは、2011年3月11日、当時は別の会社にお勤めで東京在住でしたが、たまたま有休で自身のお誕生日パーティーのために奥様のご実家である福島市に滞在していて被災しました。そこから、千葉さんの新しい人生が始まりました。翌2012年、定年を待たずに退職、福島県内の土湯温泉にある再エネ発電事業会社で地熱発電および水力発電での復興支援事業に従事、さらにそこでの出会いから、2014年福島県飯館村に、「飯館電力」を立ち上げました。

飯館村は東京から225キロのところに。交通機関で言うと、新幹線で1時間半、そこからさらに車で50分かかります。福島市からは30キロ、事故があった原発からは40キロに位置しています。

3月11日の津波発生、原発の電源喪失、相馬で9.2メートルの津波。3月12日の富岡、浪江などに避難勧告、1号機ベント、1号機水素爆発。わたしたちも当時の福島県の様子を振り返りました。ところが飯館村の線量が高いことは極秘とされており、3月15日まで村民には何も知らされませんでした。

6千人の村民が避難する場所を見つけることは非常に難しく、避難が実現したのは6月22日、村をあとにする村民の皆さんは2、3日の避難と思えば簡単な荷物で避難したそうです。その時の様子はまさに、チェルノブイリの時と同じようだと、千葉さんは怒りの言葉と共に写真を見せてくださいました。

全村避難はそれから6年間も続きました。

飯館村は日本でもっとも美しい村に選ばれた人口6000人、1700世帯が暮らす村でした。237軒の畜産農家があり、3千頭の飯館牛が飼育されていました。

現在、その美しい村は当時の跡形もなく、フレコンパックの山、人も車もほとんどいません。村に戻ってきた村民は現在1250人程度だそうです。

現在、その村には、14億円かけて道の駅が作られ、9億円をかけて多目的広場が作られ、新しく立派な「箱もの施設」がいくつも作られていること。除染で土を削り取った場所にあららしい土を盛るために山が一つ丸ごとなくなってしまうこと。

考えさせられるような事実をたくさんお聞きすることができました。

● 自然エネルギーのこと

2018年度だけで18.5兆円ものお金を発電のための化石燃料を輸入することに使っています。そんなにも多額のお金が海外の経済に流れてしまっています。一方、自然エネルギーは、完全に国産です。地域の経済に貢献できます。わたしたちができること、脱原発、復興支援の第一歩は自然エネルギーの普及を応援することです。

いまでも毎日夕方7時のニュースの前に、「今日の放射能」、の数値が天気予報とともに流れている地域があること、そしてそこに暮らす人々のことを、わたしたちは、同じ日本に暮らす人として、決して忘れてはいけないと思いました。（環境委員 水口和美）

「飯館電力バーチャルツアー」参加者の声

福島県飯館村で、震災復興に貢献しようと2014年に5人の有志により産声を上げた飯館電力(株)は、「生活クラブエナジー」電気を調達してくれている「でんきの生産者」です。

交流会での生産者の熱い思いに、参加者から多くの声が届きました。

千葉さんの怒りのこもった解説は被災者皆さんのお気持ちだと思いました。その怒りを前向きな発想、思考に変えてめげずに頑張っておられる姿に今、オリンピックで頭を抱えている政府に、あの震災を忘れないで！！復興に力を！！と言いたいです。（Iさん）

離れた場所で現状を知ることもなく調べることもなく、何も知らないまま今まで過ごしていました。今回その場の人たちの現状を知り、今の私に出来ることをしなくてはと思いました。知るだけでなくアウトプットを身近な人たちへしていきたいと思えます。（Uさん）



村の8割を占める森林の恵である山菜のセシウム濃度が、年々増している等々という現状を聞くと、ハコモノ行政が真の復興なのか強い疑問を抱いてしまいます。以前のような「最も美しい村の姿」を取り戻していくことを心から願わずにはられません。脱原発、スイッチングの輪が広がっていきますように！（Oさん）

「飯館電力」
「生活クラブエナジー」
詳しくはこちらから

まずは電気の「検針票」ちゃんと見てみませんか？

※ここでは大手電力会社の一般的なプランの「検針票」を例にしています。

「基本料金」って何？

電気料金は ①の基本料金と ②電力量料金 ③再生エネルギー発電促進賦課金の合算です。

①の基本料金には、「託送料金」というものが含まれています。

「託送料金」には、設備の新設・維持管理や人件費などだけではなく、「原発事故賠償金」と「原発廃炉円滑金」といった原発のために使われるお金もちゃっかり含まれていて、電気料金として請求されています。

電気料金 ダウン したくない？

この基本料金は固定料金ですが、これは「契約アンペア数」によって違い、一般的な60Aを50Aに変えるだけで、毎月約300円、年間だと3600円ほど下がります。まずはアンペアを下げられないか、生活を見直しましょう！

②の電力量料金とは、使った電気量に対してかかるお金です。こちらは、3段階に分かれていて 例えば、1kWhあたり「第1段階」だと21円・「第2段階」だと26円・「第3段階」になると29円と、使えば使うほど

単価が高くなる仕組み。節電・節電・節電しようっと！

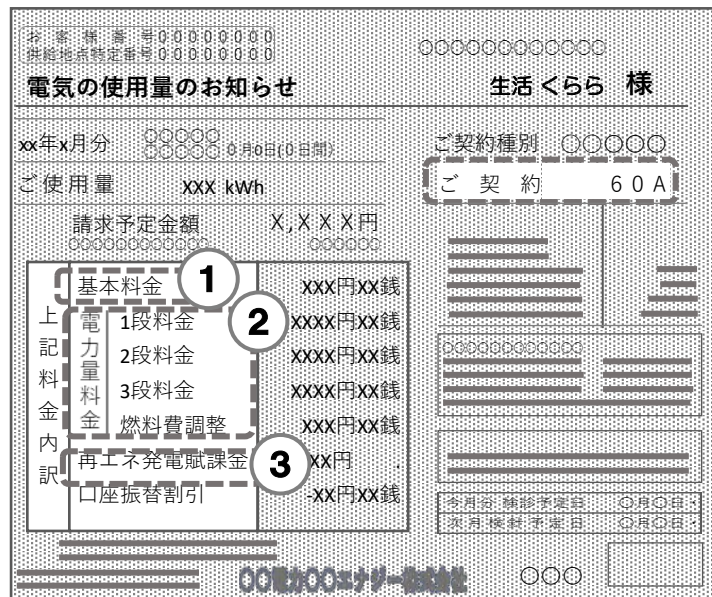
③の再生可能エネルギー発電促進賦課金も、電気の使用量に応じてかかります。

①の基本料金と ③の再生エネルギー発電促進賦課金の金額は法令で決まっています。

再生エネルギー発電促進賦課金は別項目なのに、原発関連費用はしれ〜と「基本料金」の中にインクルード？ 含めちゃってるってこと？


電気のエコ度 アップ してみない？

原発の電気使いたくないのに、知らないうちに「基本料金」として徴収されてるってのが、なんだか納得いかないけど、ささやかな抵抗としてアンペア 下げて、節電するわ。電気代も下がるし、CO2排出量も減るから、一石二鳥！



「生活クラブでんき」の料金プランはこちらから見られます

9/7 (火) 10時~12時
オンライン学習会
「香害って公害？」
「いい香り」でなぜ体調不良に？ を学べます



「環境サポーター」
♪登録してね♪

楽しみながら環境をよくするための生活知識を、月に数回、メールでお届けしています。

